

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月12日

計画の名称	魅力ある田園文化都市に誘う安全・安心な都市機能の整備（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	庄原市												
計画の目標	安全で快適な道路等の整備、公共交通機関の乗換をスムーズにする交通結節点機能の強化を行うことにより、次代を担う学生たちの通学の支援、高齢者等の移動の円滑化を図り、老若男女が安心して暮らせるまちづくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	775	A	775	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成28年当初	平成29年末	平成31年末
1	道路幅員拡張や、通学路等の安全確保により、自動車、自転車、歩行者等の利用増進を図り、交通量を増加させる。 交通量調査を行い、自動車の交通量を把握する (自動車の交通量の増加率) = (評価時点の年間交通量 - H28当初の年間交通量) / (H28当初の年間交通量) (%)	1266550台/年	台/年	1280000台/年
2	道路幅員拡張や、通学路等の安全確保により、自動車、自転車、歩行者等の利用増進を図り、交通量を増加させる。 交通量調査を行い、自転車の交通量を把握する (自転車の交通量の増加率) = (評価時点の年間交通量 - H28当初の年間交通量) / (H28当初の年間交通量) (%)	6205台/年	台/年	6300台/年
3	道路幅員拡張や、通学路等の安全確保により、自動車、自転車、歩行者等の利用増進を図り、交通量を増加させる。 交通量調査を行い、歩行者の交通量を把握する (歩行者の交通量の増加率) = (評価時点の年間交通量 - H28当初の年間交通量) / (H28当初の年間交通量) (%)	81030人/年	人/年	81900人/年
4	交通結節点の強化、バリアフリー化を図ることにより、高齢者、障害者等の日常生活の支援、学生の通学の支援等、その他多くの利用者の利便性を向上させ、利用者数の増加に繋げる 公共交通機関（JR備後庄原駅及び高速バス）の乗降客数を把握する (乗降客数の増加率) = (評価時点の乗降客数 - H28当初の乗降客数) / (H28当初の乗降客数) (%)	65412人/年	人/年	66100人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	H32			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	庄原市	直接	庄原市	区画	改築	庄原駅周辺地区〔(都)駅前線 外〕	区画整理 A=2.2ha	庄原市						775	-	
											小計						775		
											合計						775		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29			
配分額 (a)	83	115			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	83	115			
前年度からの繰越額 (d)	0	19			
支払済額 (e)	64	106			
翌年度繰越額 (f)	19	28			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					